

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年12月 15日

事業所名 サニーズマーケット

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		5	指導訓練室床面積目安10名定員24.7㎡のところ、55.2㎡を確保しています。
	2	職員の配置数は適切である		5	人員基準に適した配置を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		5	トイレも含め車いす対応が出来るバリアフリー化をしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		5	6か月に1回の個別支援計画のPDCA、月に1回の職員会議、ケース会議、週に1回の週間会議、毎日の日課の確認と振り返りの朝の支援会議を実施しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		5	昨年度の保護者様からの外部評価及び日々のご利用からの意見を活動に反映するように心がけています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		5	社会福祉法人三山黎明会ホームページに公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	現在法人全体でも第三者外部評価を行っていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		4	1年2回の法人合同研修会や定期的実施される群馬県福祉協会主催等の研修に参加しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している		5	支援マニュアルに沿ってアセスメント、ニーズ分析等を行い常勤スタッフで個別支援計画の作成にあたり、非常勤スタッフへ周知させています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		5	具体的には標準化されたアセスメントツールは現在活用していません。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている		5	職員会や週間会議において常勤スタッフ全員で立案し非常勤スタッフに周知させています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		5	運動活動(粗大運動)、創作活動(微細運動)、チャレンジ活動の3つを柱に季節や天気、個々の状況に配慮しながらプログラムを立てています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		5	毎月の職員会議において休日、長期休暇の日課等を設定しバラエティに富むように活動提供しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		5	ケース会議等において個々に応じた個別支援計画を作成し、その計画に沿って支援を実施しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		5	朝の支援会議を毎日行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		5	終了時に支援の振り返りを行いますが、時間内に終わらない場合は翌日の朝の支援会議を行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		5	毎日の日誌に活動での出来事を記載し、個々のケース記録に反映しています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している		5	通常は6か月に1回個別支援計画の見直しを行います。支援計画の内容が本人に適さなくなってきた場合はその都度会議を設け、支援計画の見直しを行います。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		5	放課後等デイサービスガイドラインに則って支援を実施しています。	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		児童発達支援管理責任者がサービス担当者会議等に参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		学校というよりも保護者様より1週間の予定、月の予定等を提供され送迎等に反映しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4	専門的な医療ケアを必要とする利用者様が現在いないので実施していません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	4	実施はしていませんが、保護者様からのニーズや事業所として必要と判断した場合は、各機関に適切な情報共有と相互理解に努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		5	実施はしていませんが、保護者様からのニーズや事業所として必要と判断した場合は、各機関に適切な情報共有と相互理解に努めます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4	コロナ禍ということもあり毎年実施しているであろう研修に参加できていません。再開後は積極的に研修に参加していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2	他放デイとの交流の話はありますが、現在のコロナ禍の中では積極的に行う予定はありません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4	前橋市自立支援協議会主催のこども部会の研修が再開されれば、積極的に参加する予定です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		日々のお子様の活動報告は連絡表に記載し、送迎時にも本人の様子を報告させていただきます。またラインにおいて細かなお知らせ等も行っています。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5	その都度アドバイス等は行っていますが、日を改めてのペアレント・トレーニングといった具体的な研修等は行っていません。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時に重要事項説明書とともに説明を行っています。利用者負担等契約時と変化が出た場合はその都度説明させていただきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		保護者様より相談、問い合わせ等ありましたら、その都度必要な支援を行うよう心がけています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	現在のコロナ禍での状況では開催をする予定もありません。また、保護者様からも要望が出ていないため実施していません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		法人の苦情解決相談マニュアルに沿って苦情解決にあたっています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		毎日の連絡表やラインでのやり取り、送迎時の対面でお子様の情報を発信させていただいています。月に1回法人の機関紙を発行し、配布しています。
	35	個人情報に十分注意している	5		契約時の個人情報使用同意書に則り個人情報保護に努めています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		利用者様には可能な限り言葉以外の視覚的な情報提示を心がけています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	コロナ禍で現在実施していませんが、法人全体でのお祭り「れいめい祭」で地域の方達を招待しています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは法人で策定していますが、保護者にも周知できるよう支援室にも掲示致します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	年に2回避難訓練を実施しています。(火災と地震)
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	事業所内部、外部において虐待防止研修を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2 マニュアルとして身体拘束承諾書はありますが、現在対象になる利用者様がないので実施していません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	日々の日誌に個々のアレルギーが確認できるように周知しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	毎月の職員会議においてヒヤリハット、事故報告等の確認、対策を行っています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年12月15日

事業所名 サニーズマーケット 保護者等数(児童数) 10(12)人 回収数 9 割合 90 %

※各欄に合計数を記入してください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	1		1		指導訓練室床面積目安10名定員24.7㎡のところ、55.2㎡を確保しています。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9						
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1		4		トイレも含め車いす対応が出来るバリアフリー化を行っています。	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	9				個々をきちんと見てくれているのが分かる計画書でした。		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	8	1				運動活動(粗大運動)、創作活動(微細運動)、チャレンジ活動の3つを柱に季節や天気、個々の状況に配慮しながらプログラムを立てています。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	1	1	4	特に交流がなくても良い	他放デイとの交流の話はありますが、現在のコロナ禍の中では積極的に行う予定はありません。	
保護者等 への説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9						
	8 日頃から子どもの状況を保護者等と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	2			受診の際、内服が変わると様子を文書にして見せてくれ助かりました。		
	9 保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9						
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者等同士の連携が支援されているか	2	1	2	4	・保護者会はなくて良い ・父母の会や保護者会は障害を持つ親からは負担です ・コロナのためと思われる。	保護者様により考え方がそれぞれ違うので現在は父母の会や保護者会等の設立は考えていません。必要性を感じた場合は、ご相談させていただきます。	
	11 子どもや保護者等からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者等に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				3	何かあった際、話しやすい環境作りをしてくれているので相談しやすい。	法人の苦情解決相談マニュアルに沿って苦情解決にあたっています。
	12 子どもや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9						
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者等に対して発信しているか	7				2		毎日の連絡表やラインでのやり取り、送迎時の対面でお子様の情報を発信させていただいています。年に1回法人の機関紙を発行し、配布しています。自己評価に関しては社会福祉法人三山黎明会ホームページに公開しています。
14 個人情報に十分注意しているか	9							
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者等に周知・説明されているか	5			4		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは法人で策定していますが、保護者にも周知できるよう支援室に掲示してあります。	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			6		消防署の指導のもと年2回の避難訓練を実施しています。(火災と地震)	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	8	1					
	18 事業所の支援に満足しているか	9				安心して任せられとても感謝しています		

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向けアンケート」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。